



京都大学 理学研究科・理学部

GRADUATE
SCHOOL OF
FACULTY OF **SCIENCE**
KYOTO UNIVERSITY

KYOTO UNIVERSITY SCIENCE CO-CREATION INNOVATION CONSORTIUM

京都大学理学共創イノベーションコンソーシアム 2024

CONCEPT

高度科学人材育成の好循環を目指して

『博士人材との交流』

「多種多様な切り口」と「斬新な発想」を有する京大理学の博士人材との交流

『最先端研究の紹介と産学連携の促進』

京大理学が誇る新進気鋭の若手研究者やトップ研究者との研究交流



京都大学北部構内イチョウ並木
(理学研究科前)

ご挨拶

現在の日本は、少子高齢化、地域格差、経済の低迷、気候変動、潜在的な自然災害リスクなど様々な問題を抱えています。同様に世界にも多くの課題が存在しています。理学はこのような問題の解決に直接寄与するような学問ではありませんが、問題解決に必要な高度な研究能力を持つ人材の育成に有効であることは論を俟たない点でしょう。さらに、理学は研究の過程において、問題解決の基礎となる情

報分析の手法や概念の創出、新規な技術の提供、全く新しい考え方の提示を行うことができます。実際、社会を大きく変えるような発見や発明が直接関係ない分野から現れることは、よく知られた事実です。京大理学はこのコンソーシアムを通じて、産業界との接点を広げ、日本の将来を担うイノベーションの共創を図りたいと考えています。是非、参加をご検討いただければ幸いです。



田中 耕一郎
Koichiro Tanaka

京都大学大学院
理学研究科長・理学部長

『科学技術立国を支える高度科学人材を共に育成しませんか？』

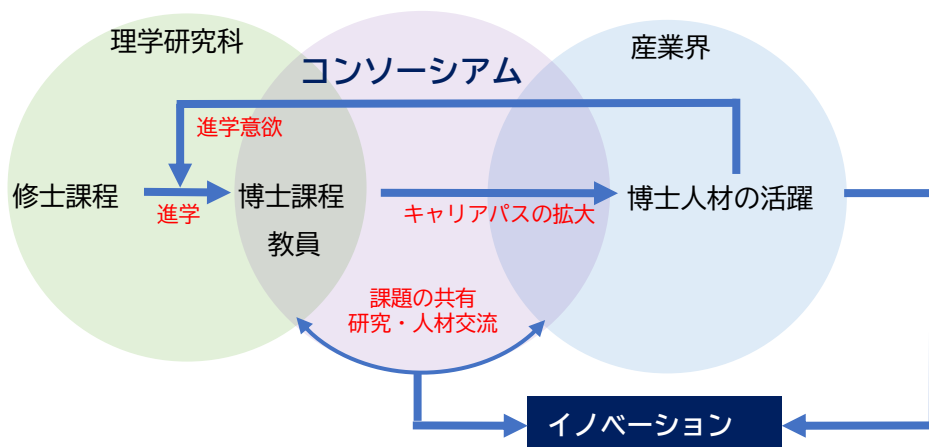
次々と新しい学問分野を開拓し、卓越した研究成果をあげ、ノーベル賞受賞者を輩出してきた京都大学大学院理学研究科・理学部（以下、京大理学）。その知と産業界が接点を持つことで、思いがけない大きな成果を共創することが期待されます。

理学、それは好奇心に突き動かされて、自然の摂理を解明しようとする学問といえます。理学は基礎科学ゆえ、様々な課題解決の基盤技術として応用することが可能です。さらに、京大理学には好奇心が旺盛で創造力豊かな学生が集

い、専門や年齢の壁を越えて自由に対話できる土壌があります。このような土壌で高度な科学力を培った博士人材は社会課題解決指向型研究にブレイクスルーをもたらす起爆剤になる可能性を多分に秘めています。

現代社会においては、AIや量子情報技術など、全く新しいコンセプトの技術開拓が必要となってきました。そこで、京大理学は産業界と新しい価値を共創し、それによって高度科学人材育成の好循環をもたらすことを目的としたコンソーシアムを2023年9月に設立しました。

高度科学人材育成の好循環



産業界で活躍する博士人材を増やし、そのことが博士課程で学ぶ学生の増加をもたらすという高度科学人材育成の好循環を期待しています。

京都大学大学院理学研究科

京都大学理学研究科は、理学教育を通じて、自然科学の基礎体系の深い習得とそれを創造的に展開する能力や個々の知識を総合化し新たな知的価値を創出する能力を有した優れた科学者の育成を志しております。そのために、自由な雰囲気の下で学問的創造を何よりも大切にす学風を自律的に醸成する国内外に広く開かれた教育・研究機関として発展していくことを目指しています。

教員・学生等研究科構成員の自発的意志と学問に対する情熱を尊重し、時々の社会的雰囲気に惑わされることなく基礎的・萌芽的研究を重視して進めるとともに、学問の新しい進展によって生み出される境界領域・複合領域の研究分野を創成して発展させることにも努めています。

各専攻の詳細



研究者一覧



- 数学・数理解析専攻
- 物理学・宇宙物理学専攻
- 地球惑星科学専攻
- 化学専攻
- 生物科学専攻



本コンソーシアムを介した京大理学への応援

法人化以降、国立大学における自由闊達な研究活動と人材育成を支えるための運営費交付金が削減され続け、大学院生を含む若手研究者の自由な発想による研究活動が難しくなっております。また、教職員の定員削減により、教育、研究環境の劣化が深刻な問題になっております。本コンソーシアムでは、いただいた会費を大学院生を含む若手研究者の教育、研究活動の支援という直接的な形で活用させていただき、優れた科学人材の育成を目指して参ります。このような本コンソーシアムの趣旨にご賛同いただき、応援していただける方のご参加をお待ちしております。

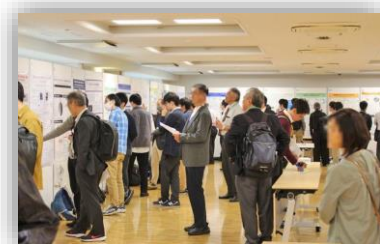
参加者の声

会員

- ・社員には目先の事業ばかりでなく、もっとサイエンスの最先端にも触れてほしいと思った。
- ・自社でなかなか取り組めない基礎研究を理学人材が担えるのではないかと感じた。
- ・理学学生、特に博士課程の学生の研究力の高さを感じた。

学生

- ・普段は企業の方と話す機会がなく、刺激的だった。
- ・専門外の人に自身の研究を説明する難しさや重要性を改めて実感した。
- ・自身を客観的に振り返る良い機会となった。



VOICE

イノベーション創発のために、ユニークな切り口で発想し、研究プロジェクトを一貫して担える「優れた博士人材の獲得」や多方面への展開が可能な「最新の基礎科学研究成果の探索や深化」にご関心ある方は、若手研究者をはじめとした京大理学研究科との繋がりが深まるのはもちろんのこと、会員企業同士の交流の機会も生まれる本コンソーシアムに是非ご参画ください。

1 博士人材との交流

(1) 研究交流会 (2回/年)

博士課程在籍者による研究紹介セッションと交流会

(2) 企業研究説明会 (2回/年)

博士課程在籍者および博士課程に進学する意欲のある修士課程学生を対象とし、各企業における研究開発概要や体制、取組方針について紹介することを主目的とする研究説明会の開催

2 最先端研究の紹介と産学連携の促進

(1) サイエンス講座 (年3回)

理学研究科研究者 (おもに若手研究者) による当該分野の研究レビューも含む最新研究とそれを支える技術の紹介

(2) 出張講演

要望に応じて京都大学理学研究科の研究者を派遣、希望するテーマで講演やディスカッションを実施

(3) 個別相談

会員が有する科学的課題に研究者との個別ディスカッションを通して対応

会員種別

会員種別	提供メニュー	年会費 (税込)
1.1 法人会員A	1 (1) ~ (2) 2 (1) ~ (3)	1,000,000円
1.2 法人会員B	1 (1) 2 (1)	500,000円
2 個人会員 ※1	1 (1) 2 (1)	50,000円
3 京大理学応援特別会員 ※2	1 (1) ~ (2) 2 (1) ~ (3)	3,000,000円

※1 会員個人のみ提供メニューへご参加いただけます。

法人の従業員としては各メニューにご参加いただけませんのでご注意ください。

※2 法人会員Aの内容に加え、研究室見学や短期の研究室受け入れなど、個別のご要望に応じます。法人会員の方で、理学研究科内で寄附講座を検討される場合などは、別途ご相談ください

年間スケジュール予定

SCHEDULE

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1(1) 研究交流会								○			○	
1(2) 企業説明会								○			○	
2(1) サイエンス講座			○			○			○			
2(2) 出張講演	←					随時	→					
2(3) 個別相談	←					随時	→					

サイエンス講座の開催時期については変更の可能性がございます。

